

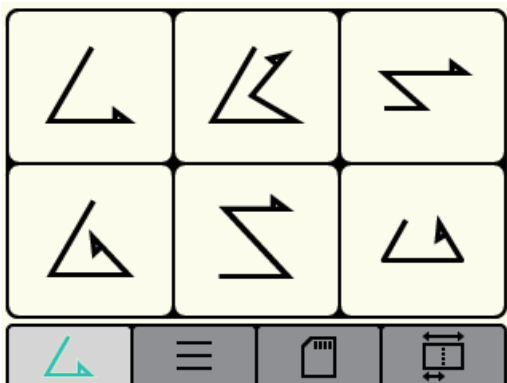
① 電源スイッチを入れます。



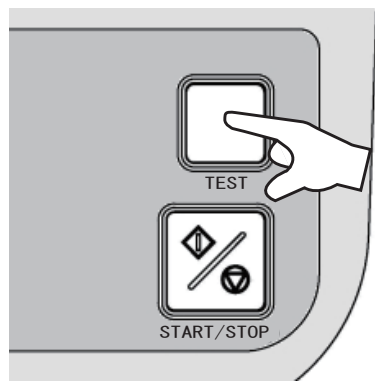
電源スイッチ

② 用紙をセットします。

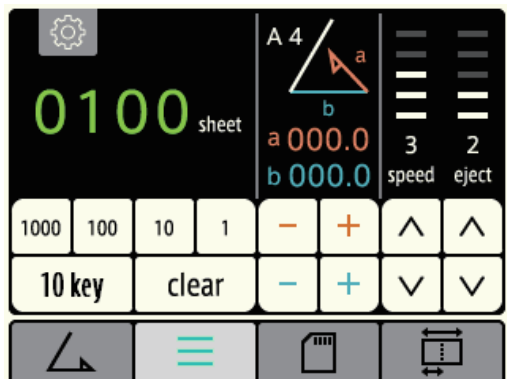
③ 折り形を指定します。
希望の「折り形」キーを押します。



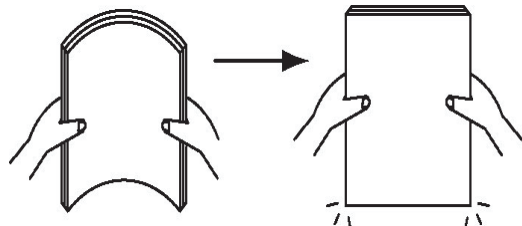
④ 「TEST」キーで試し折りをします。



⑤ 試し折りで折り形がOKであれば「START/STOP」キーで連続折りを始めます。

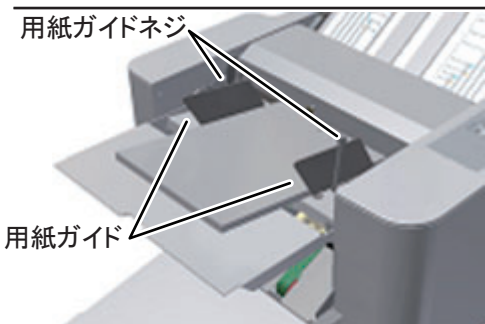


<用紙セットのポイント>



<用紙のさばき方>

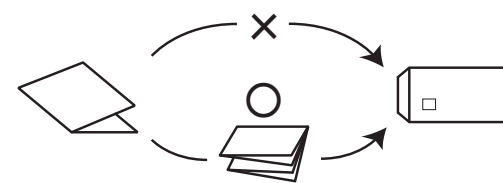
- ①用紙の両端をつまみます。
- ②用紙を曲げて空気を入れます。
(軽く力をゆるめ、曲げてから再度用紙をつまむ)
- ③上下に用紙を揃えます。



・用紙ガイドの間に隙間なく用紙を密着させ用紙ガイドネジを締めます。

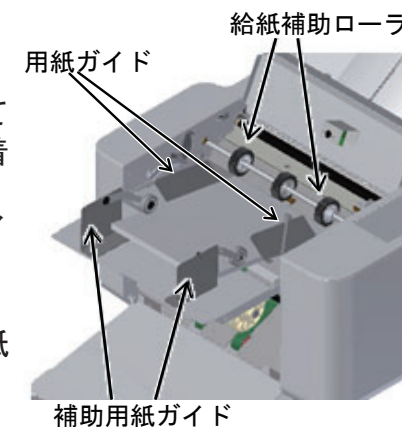
・印刷直後の用紙、カールした用紙は紙づまり重ね送り、スリップ、用紙のシワの原因になりますので、カールを直し必ず乾いてから使用してください。

<クロス折り>

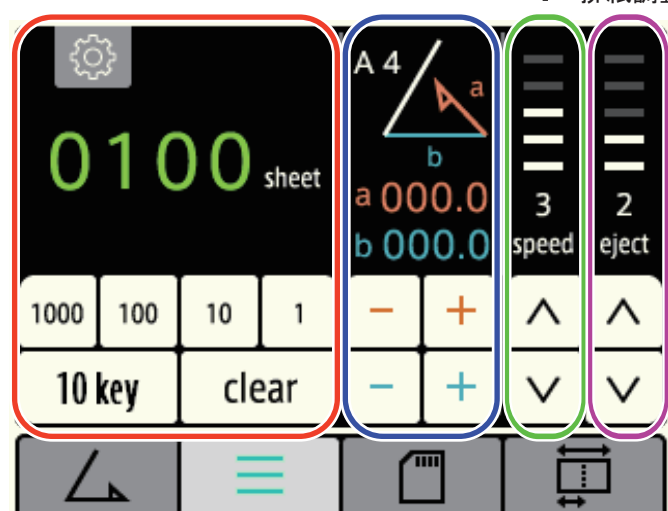


クロス折りとは、2つ折りした用紙をさらに4つ折りや内3つ折りなどにすることをいいます

- (1) 2つ折りにした用紙の折り目をよくつぶしてから給紙テーブルに載せ、用紙ガイドを密着させて固定します。
- (2) 左右の給紙補助ローラのネジをプラスドライバーでゆるめて用紙の両端をおさえる位置にセットします。
- (3) 補助用紙ガイドを、先端のベアリングが用紙のふくらみをおさえる位置に置きます。



カウンタ部 折り位置調整 スピード調整 排紙調整



- 折り形選択画面
6種類の折りから希望の折りを選択します。
- メイン画面 (左絵)
折り作業中の画面です。
- 登録折り画面
変形折りなど、登録した折り形を呼び出します。
- 変形折り設定画面
定型外サイズ用紙の折り、変形折りが簡単に行えます。
- 各種設定
折りの登録・消去、重送検知など各種設定を行います。

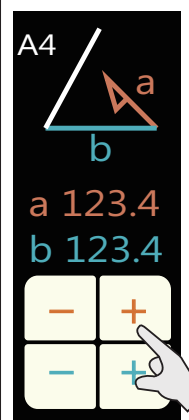
<折りずれの調整>

調整は微調整ツマミを使用したアナログ方式と操作パネル上で行うデジタル方式のどちらでも可能です。
(微調整ツマミを回すと操作パネル上のa. b面の数字も変化します)

○アナログ方式 下図を参考にして、微調整ツマミで折りずれ(実線の長さ)を調整。
※折り形の図は排紙テーブルに出てきた用紙を操作パネル側から見た状態で表しています。

	折り形	2つ折り	観音折り	内3つ折り	外3つ折り	4つ折り	片袖折り
カセット1	紙折りの状態 (実線の長さをカセット1で調整します)						
	実線部が長い場合	短	短	短	短	短	短
	実線部が短い場合	長	長	長	長	長	長
カセット2	紙折りの状態 (実線の長さをカセット2で調整します)						
	実線部が長い場合	短	短	短	短	短	短
	実線部が短い場合	長	長	長	長	長	長

○デジタル方式
メイン画面の「+」「-」キーでa面b面を微調整してください



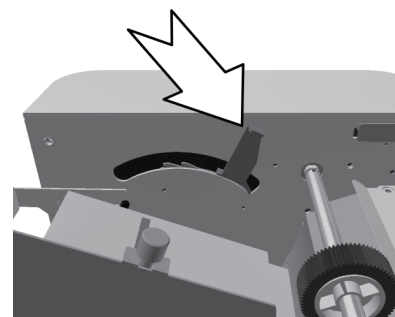
a面 (カセット1)
b面 (カセット2)

折り形の挿絵は選択している折り形により変化します。

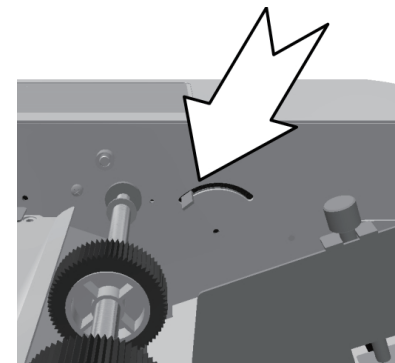
「テスト」キーを押す事でストップは移動します。

<アート紙/コート紙を折る場合>

コート紙用セパレータ 給紙ローラ中央下のセパレータをコート紙用セパレータと交換します。



給紙圧レバーを「0」に設定します。

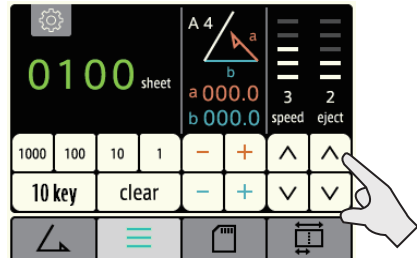


セパレータ圧調整レバーを「2」に設定します。

「アート/コート」で印刷された用紙は印刷インクにより用紙の密着度が非常に強い場合があります。その場合上記の圧力設定だけでは給紙ミスが発生しやすくなるため、用紙をセットする前には必ずさばいてください。

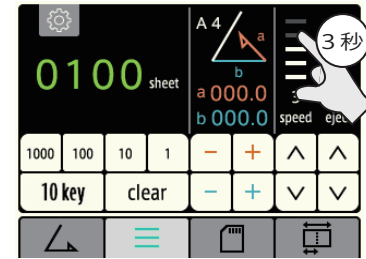
<速度調整 (SPECIALモード)>

注意！速度を変化させた後は、折り位置の微調整が必要になります。

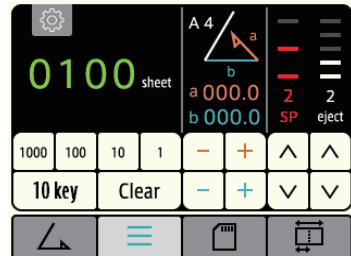


「△」「▽」キーでスピードを設定します。(5段階)

・SPECIALモード



インジケータ部を3秒押しするとSPECIALモードに移行します。(インジケータが赤色に変化します)

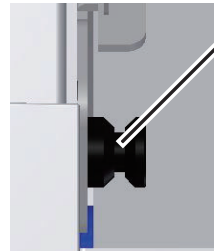
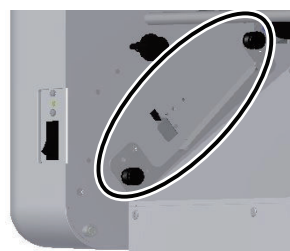


- ・SP1 静音モード (厚口の用紙には不向きです) ... 静かに動作するモードです。
- ・SP2 厚紙モード ... 厚口用紙の専用モードです。
- ・SP3 超高速モード ... 高速で折り作業が行えるモードです。

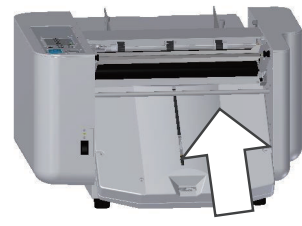
※SP1・SP3のモードはA4サイズ以下 2つ/内3つ/4つ折りのみ対応

<折りカセットの取付け方法>

① 先に折りカセット2を取付けます。

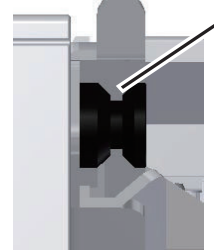
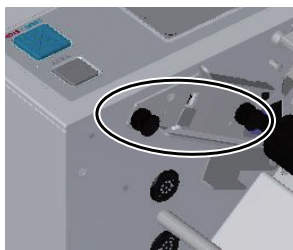


溝にカセットを載せ滑らせます

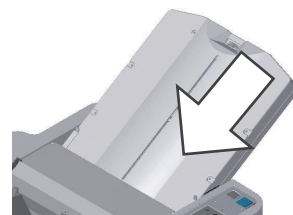


丸印のレール部分にカセット2を滑らすように矢印方向斜め45度程度の角度で差し込みます。

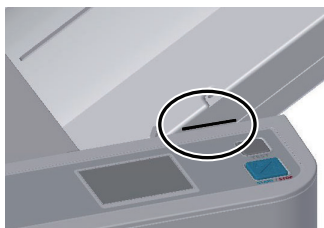
② 次に折りカセット1を取付けます。



溝にカセットを載せ滑らせます



両側にある丸印の折りカセット1ガイドに沿わせるようにして、折りカセット1を差し込みます。



側面の黒い線が本体サイドカバーの面に丁度合うように押し込んでください。

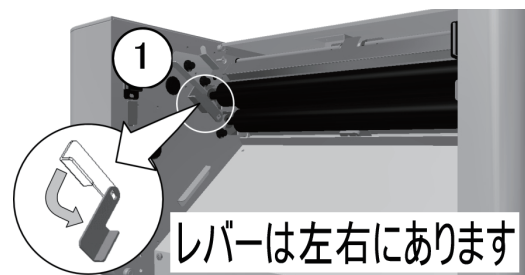


折りカセット1のプラグを上側に、折りカセット2のプラグを下側に、それぞれ差し込みます。

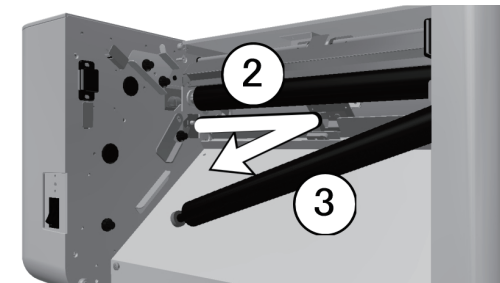
<折りローラの脱着と清掃、消耗品の交換>

○折りローラの外し方

- ①～③の順に上のローラから外し、次に下のローラを外します。取り外すことで、ローラや排紙フォトセンサの清掃が簡単になります。



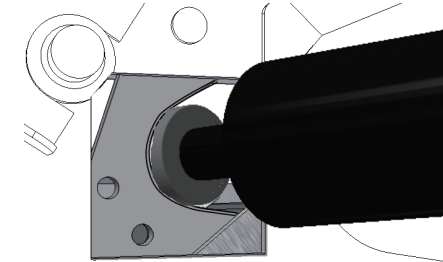
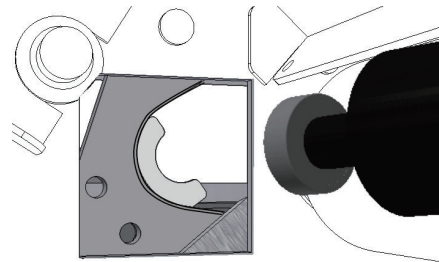
レバーは左右にあります



- ①ローラ脱着レバーを「ローラ解除位置」側に下げます。
 - ②ローラを右にずらします。(左穴から軸が外れます)
 - ③右穴からローラを外します。
- ※ 残りの2本のローラは脱着できないので、少しずつ回しながら清掃します。

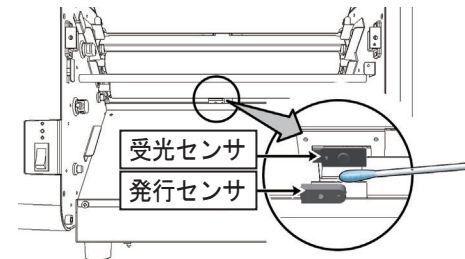
○折りローラの取り付け方

外した時とは逆の手順で下のローラから着けていきます。



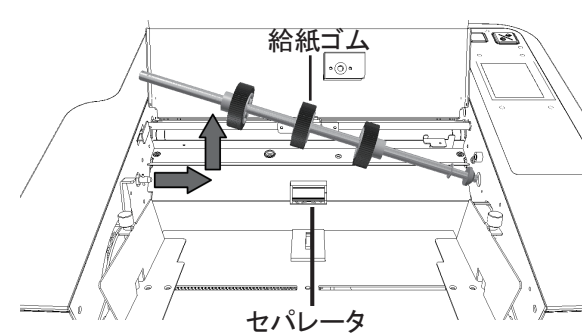
ベアリングが丸い切り欠き部に乗る形が正しいセット位置になります。

○排紙フォトセンサの清掃



付着した紙粉を、やわらかい綿棒で取り除いてください。

○消耗品の交換



修理・その他ご不明な点については、お買い求めの販売店もしくはお客様相談室へご連絡ください。

お客様相談室

フリーダイヤル

お問い合わせは平日午前9時より12時、午後1時より5時とさせていただきます。

TEL ☎ 0120-074416

FAX ☎ 0120-402539

株式会社 **ライオン事務器**

本社 〒164-0003 東京都中野区東中野2丁目6番11号

※左のキリトリ線に沿って切り、安全カバーに貼り付けて「簡易マニュアル」としてご使用いただけます。

(両面テープ等で貼り付けてご使用下さい)